

支援プログラム（参考様式）

児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんが

作成日 2025年 3月 1日

法人（事業所）理念	子どもたち一人ひとりがステキな自分をみつけ、未来に向かって大きく羽ばたいていくこと		
支援方針	利用児がその子らしく、可能なかぎり地域に継続して生活ことを念頭に、日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応できるように適切な支援を行う		
営業時間	9時	0分から	18時
		0分まで	送迎実施の有無
			あり
	支 援 内 容		
健康・生活	基本的な生活習慣を身につけられるように支援する（偏食指導、食具の使い方、定時排泄、衣服の着脱等） 日課など、視覚的アプローチを用いながら見通しを持てるように支援する 意思表示が困難な子どもたちの小さなサインから身体の異変に気づけるよう健康状態の把握を行う		
運動・感覚	リトミック等を通して、身体感覚や感触を刺激し、運動機能、姿勢、バランス感覚、過敏の軽減、力の強弱、距離感などの成長を促す 姿勢保持、運動、動作の向上のための支援をする 感覚あそび等を通して、身体感覚を高めながら感覚の偏りの調整を図るよう支援する		
認知・行動	個の特性に合わせてながら個別支援を実施 認知の概念形成（数、形、色、大小、空間等）のための支援を行う 視覚、聴覚等の感覚を活用しながら、情報を取扱いながら、発達を促せるように支援する（集団活動）		
言語 コミュニケーション	いろいろなあそびや大人との関わりを通して、たくさんのことばに触れながらことばと行動の一致を図るよう支援する 子ども特性に応じて、自分のやりたいたいこと、したいことをことばやジェスチャーなどで伝えられるよう支援する 発語やジェスチャーなどを用いながら、コミュニケーションルールの獲得を行う		
人間関係 社会性	朝の会、設定保育にて小集団での活動を通して集団でのルール、マナー（順番、待つ、聞く等）を知り、獲得できるよう支援する 他児との関わり（玩具の貸し借りなど）を意図的に設けながら一緒にあそぶ楽しさを積み重ねるよう支援する SSTを通して児童本人に気づきを与え、自身の行動を自ら変えられるよう支援する		
家族支援	保護者からの困りごとに対する相談、助言 子どもへの関わり方への相談、助言（ペアレントトレーニング） 保護者参観週間を通して、保護者間の情報交換の場の提供	移行支援	保育園、幼稚園等への情報提供 就園先、就学先進路についての相談、助言 就学先への情報提供
地域支援・地域連携	各関係機関（保育園、幼稚園、相談支援事業所等）への連携 地域の児童館等への外出を通し、地域の方との交流を図る	職員の質の向上	週1回の社内研修 支援会議の実施 外部研修への参加
主な行事等	季節に合わせた行事の提供（花見、水あそび、七夕、夏のお泊り会、ハロウィン、クリスマス、お正月、豆まき等） 避難訓練 3回/年 誕生会、保護者参観週間		

本人支援